

# 化学療法を受けるまえに



様

北海道がんセンター 2016 年 9 月改訂

2017 年 1 月改訂

2020 年 4 月改訂

2020 年 12 月改訂

## ～化学療法を受けられる方へ～

（がん）化学療法とは手術と放射線治療に並ぶがん治療3本柱のひとつで、抗がん剤を用いたお薬による治療のことです。化学療法は腫瘍を小さくする、手術後の再発を予防する、さらには手術で切除不能といわれた患者さんの腫瘍を縮小させて切除可能にする、など重要な治療法です。

外来で化学療法を行うことの最大のメリットは、患者さんが日常生活を送りながら化学療法を受けることによって、生活の質（QOL：Quality of life）を維持することができることです。具体的には化学療法を外来で受けながら今まで通り仕事も続けることができますし、趣味を楽しむこともできます。休薬中には長期間旅行にも行くことも可能です。

私たちは「より快適な環境で確実かつ安全な外来がん化学療法を提供する」という信念に基づき、外来化学療法を提供していきたいと考えております。化学療法を受けるにあたり、心配なことや不安なことがたくさんあると思います。

その心配や不安を少しでもやわらげて、安全に治療が受けられるよう、起こりやすい副作用とそれらに対してどうしたら良いのかをまとめました。

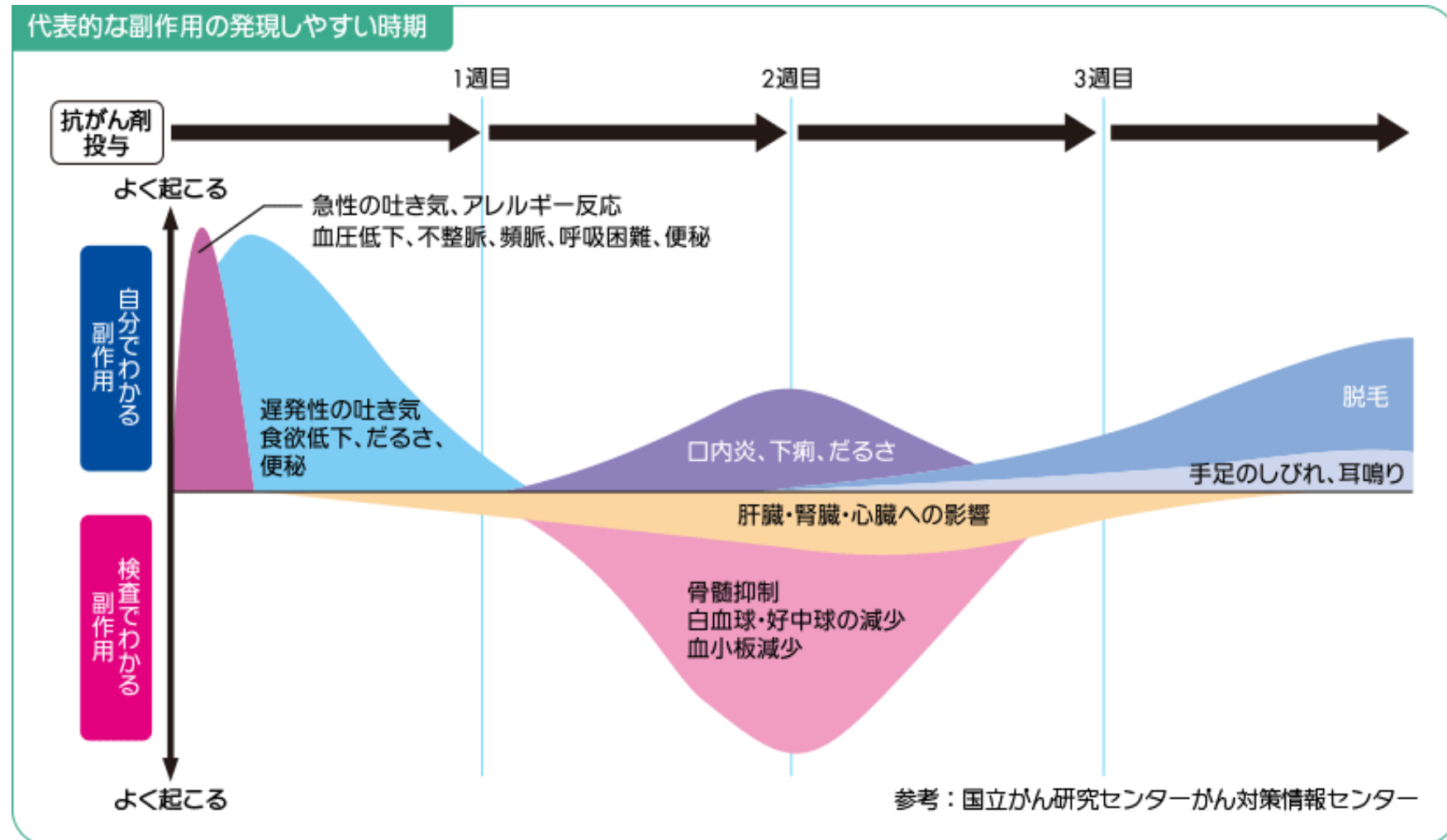
一般的な内容ですが（人によつての差や薬の種類による違いはあります）十分に目を通された上で、治療に前向きに取り組んでいただけたらと思っております。また、病気に打ち勝つ治療となるように、化学療法をする目的とその治療内容を是非理解していただきたいと思ひます。

（外来化学療法センター長 佐川 保）



できるだけ辛くなく治療がすすめられるよう、専門的な知識のある看護師や薬剤師が中心となり、スタッフ一同で応援しています！

## 主な副作用と出現時期



## 骨髄抑制（こつずいよくせい）

血液を作り出す骨髄に抗がん剤が取り込まれ、一時的に障害を受けることによって、白血球、赤血球、血小板の数が減ることをいいます。急激に血球が減った場合、輸血をする場合があります。

### 1. 白血球減少

病原菌と十分に戦うことができず、感染症を起こしやすい状態になります。また、虫歯や痔など、もともとある病気が悪くなること、口内炎などを起こす可能性があります。

#### 予防・対処法

- ◆ 手洗い（食事の前、トイレの後、外出後）をしましょう
- ◆ 食後の歯みがき、うがい（朝起きた時、食事の前後、寝る前）をしましょう
- ◆ 毎日シャワーまたは入浴し、からだを清潔にしましょう
- ◆ 便秘にならないようにし、排便後はウォシュレットできれいにしましょう
- ◆ 人ごみは避け、外出時はマスクを使用し、帰宅後は手洗い・うがいをしましょう
- ◆ ワクチン接種は主治医にご相談下さい
- ◆ 食べ物に制限はありません
- ◆ 土いじり、ペットからの感染に注意しましょう
- ◆ 白血球が下がりやすい時期(抗がん剤投与 7 日目～)以外は、通常の生活をしてもらってもかまいません

### 2. 赤血球減少

貧血症状（疲れやすい、動悸がする、めまいがするなど）が現れることがあります。

#### 予防・対処法

- ◆ めまい・ふらつきがある場合や、疲れやすいときには安静にし、症状が改善してから体力の回復に努めましょう

### 3. 血小板減少

出血しやすく、血が止まりにくくなります。

#### 予防・対処法

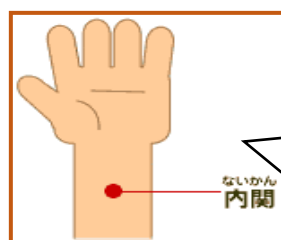
- ◆ 採血、点滴のあとはしっかり押さえて血が止まったのを確認しましょう
- ◆ 歯ブラシは毛の柔らかい物を使用しましょう
- ◆ ケガや打撲に注意しましょう
- ◆ 鼻を強くかみすぎないようにしましょう

## 吐き気・食欲不振

抗がん剤の種類によって、吐き気の出やすさは変わります。治療の時には、あらかじめ吐き気止めを使いますが、効果が薄れてきた頃にむかつきを感じたり、食欲が落ちることがあります。また、抗がん剤の影響で味覚や嗅覚が変化し、食欲がおちることがあります。**気持ちが悪い、すっきりしないなどの症状がありましたら、我慢せずにご相談ください。**

### 吐き気を起こさないために／起こった時には

- ◆ 抗がん剤治療の日の食事は、腹八分目としましょう
- ◆ 食べられそうな物を食べたいときに、よく噛んで食べるようにしましょう
- ◆ ご希望に応じて病院食の内容を変えることができます  
例) 冷たい麺、お粥、ゼリーや果物を付ける  
食べ物のにおいて気分が悪くなる場合は、食事を冷ますこともできます
- ◆ 食べられなくても水分は十分にとるようにしましょう（1日 1.5～2L 程度）
- ◆ 口の中は常にきれいにしておきましょう  
歯磨き粉を使うと口の中がスッキリして、吐き気がやわらぐことがあります  
歯ブラシを使うことで気持ち悪さが強くなる場合は、うがいでも良いです
- ◆ 抗がん剤治療の前に、便秘を解消しておきましょう
- ◆ 治療の前日はしっかりと睡眠をとりましょう
- ◆ 吐き気が出たときにツボを押すのも効果的です



腕の手のひら側で  
手首のしわの真ん  
中から上へ指3本  
のところ



足の親指の本節の  
後ろ1寸。太白（た  
いはく）の後ろ1寸

#### 吐き気を起こしやすいお薬

シスプラチン シクロホスファミド カルボプラチン ドキソルビシン

イホスファミド イリノテカン オキサリプラチン など

## 味覚異常

抗がん剤の影響で味覚が変わることがあります。症状として「金属のような味がする」、「砂を噛んでいるような感じ」、「水を飲んでも苦い」、「味がわかりにくい」、「味が濃く感じる」などがあります。味覚異常は治療終了後 3～4 週間ほどで元に戻ってくるといわれていますが、個人差があります。

### 味覚・嗅覚変化の対処法

- ◆ 濃い味の調味料を使ったり、塩味は濃い目にすると良いでしょう
- ◆ 食べ物の臭いが気になる場合は、室温に冷ましたり冷やすと食べやすくなります
- ◆ 酸っぱい食べ物やカップラーメンなどが食べやすい場合もあります
- ◆ 舌のブラッシングや歯磨きをして口の中をきれいにしましょう  
口の中が乾燥すると舌苔（ぜったい）が付着して舌が白く汚れ、味覚障害を起こしやすくなります。柔らかい歯ブラシや専用の舌ベラ（当院の売店にも売っています）で、舌苔が付着している箇所を 2～3 回優しく前後にこするのが効果的です。
- ◆ 唾液の分泌を促すガムを噛むのも効果があるといわれています
- ◆ においが気になる場合はたばこや香水のにおいがある場所は控えましょう



## 便秘

抗がん剤治療中は抗がん剤によって自律神経が障害を受けたり、はきけ止めの副作用・不安や緊張・運動不足などにより普段より便秘になりやすくなります。お薬をうまく使用し、1日1回排便があるようにコントロールすることが大切になります。

### 便秘にならないために

- ◆ 水分を取りましょう
- ◆ おなかのマッサージをしましょう
- ◆ 入院中も安静にしすぎず、散歩など運動をするように心がけましょう
- ◆ 下剤を上手に調節しましょう



#### 酸化マグネシウム／マグミット

便に水分を含ませてやわらかくしてくれます。便秘予防にあらかじめ飲むこともあります。1回1錠～2錠を便の状態に合わせて（硬さや量によって）一日1～3回内服します。



#### プルゼニド／アローゼン

腸の動きを良くして便が出やすくなるようにします。飲んでから8～10時間ぐらいいで効果が出ます。



#### ピコスルファート／ラキシベロン

便秘の症状が強い場合は内服することがあります。水薬なので、滴数で量を調節できます。

## 下痢

抗がん剤によっては、下痢を起こしやすい薬があります。毎日排便回数と性状を確認してください。

### 予防・対処法

- ◆ 便の回数が3回以上に増えたり、便が泥状から水様になった場合はお知らせ下さい  
状況に応じて、下痢止めや整腸剤を飲んでいただきます
- ◆ 下痢をしている時は、水分を多くとり、できるだけ安静にしましょう
- ◆ 腹部を温めると、腸の動きをしずめ、痛みを和らげてくれる効果があります
- ◆ 排便後は弱めにウォシュレットを使用し、やさしく水分を拭き取りましょう
- ◆ 食事は温かく、消化吸収のよいものを食べましょう
- ◆ 下痢をしている間は香辛料の強い食品、冷たい食品、炭酸飲料やコーヒーは避けましょう
- ◆ お腹を圧迫させてしまうと、腸内の刺激が強まり、余計に下痢になりやすくなります  
なるべくゆったりとした服を着て、ベルトも少し緩めにしておきましょう

### 下痢を起こしやすいがん治療薬

イリノテカン、フルオロウラシル、メソトレキセート、エトポシド、シタラビン  
スーテント、インライタ、ヴォトリエント、TS-1 など

### 下痢止めの内服方法について

#### ◆ ロペラミド錠



下痢が続く場合、1回1錠内服していただきます

医師の指示によっては1回2錠になることもあります



## 過敏症（アレルギー反応）

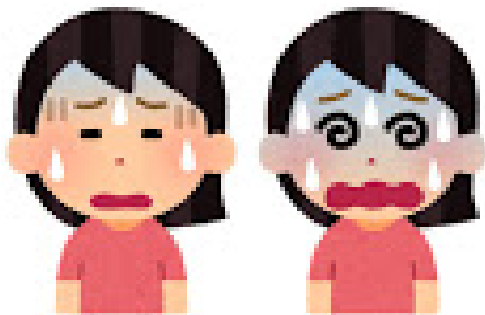
＊起こりやすい薬＊ パクリタキセル、ドセタキセル→初回、2回目

白金製剤（シスプラチン、カルボプラチン、オキサリプラチンなど）→6回目以降

アレルギー反応とは、体に侵入した異物から守るためのシステム（免疫）が過剰に反応して現れる反応のことを言います。多くは抗がん剤を点滴してから顔が熱い・ドキドキする・体がかゆいなどの症状で出現します。アレルギー反応は、体に抗がん剤が入ってから数分で起こるものと、数時間から数日たってから起こるものがあります。

### 対処法

- ◆ 抗がん剤の種類によっては（ドセタキセル、パクリタキセル）初回、2回目の点滴時は10分間ゆっくりと点滴し様子を見てから指示通りの時間で点滴を行います
- ◆ 指示された予防薬がある場合は忘れずに飲みましょう  
指示薬 有 ・ 無 （ ）
- ◆ 次のような症状がでた場合は、様子を見ずにすぐにスタッフに教えてください  
かゆみ・じんましん・体が熱い・のどの違和感・くしゃみ・咳・冷や汗・めまい・息苦しさ・動悸など
- ◆ 外来で治療を受けた場合は、帰宅後の体調変化に注意しましょう



## 神経障害（しびれ・知覚異常）

**\* 起こりやすい薬 \*** パクリタキセル、シスプラチン、オキサリプラチン、オンコビンなど使用する抗がん剤によって手や足がしびれたり、刺すような痛みがあったり、感覚が鈍くなるなどの症状が出る場合があります。また手足が冷たいと覚えることもあります。治療開始から早くて 3～5 日後、又は、数週間後から症状が始まるなどの個人差がありますが、治療回数が進むにつれて強くなる傾向があります。神経障害が進むと、箸が持ちづらい、ボタンの掛け外しなどの細かい動作がしづらい、字が書きづらい、スリッパがすぐ脱げるなどの症状が起こります。このような症状があるときは主治医や看護師にお話し下さい。

残念ながら効果的な予防法はありませんが、症状が生活に支障をきたすことがないように、経過をみていく必要があります。何か気になる症状があるときは我慢せずご相談下さい。

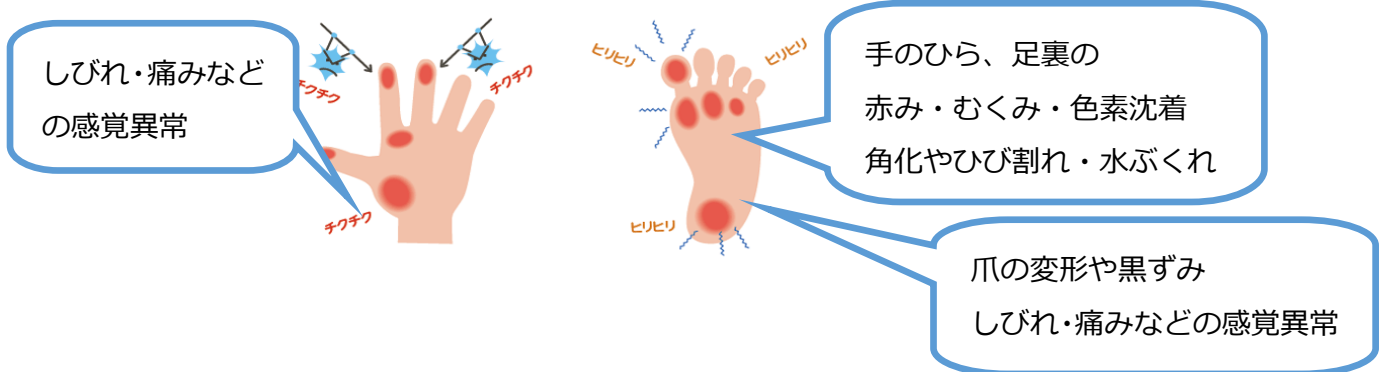
### 対処法

- ◆ 気温が低いときは皮膚の露出を避け保温しましょう。冷やすと症状が強くなる場合があります。
- ◆ 感覚が鈍くなっている時は、熱さを感じにくくなります。やけどに注意し、湯の温度、コンロやストーブ、カイロの使用に注意しましょう。
- ◆ 包丁や鍋などは十分に注意して使用しましょう。
- ◆ 外出時は安定した履物（足をしっかり固定してあるもの、底の滑りにくいもの）をはきましょう。階段昇降時はできるだけ手すりを利用しましょう。
- ◆ 手の運動（グーパー）やマッサージ、温めるなどで循環を良くすることも効果がある場合もあります。
- ◆ 一度おこった神経障害が回復するには時間がかかります。細かい動作が難しくなってきた場合や、じんじん痛む場合にはお知らせください。しびれを和らげるお薬を処方したり、抗がん剤の量を変更する場合があります。



## 手足症候群

使用する抗がん剤によっては、副作用として手足の皮膚が赤くなったり、腫れて痛くなるなどの皮膚症状が起こることがあります。使用する薬の種類によって症状の現れ方や程度は異なりますが、多くは一週間程度、早ければ投与後数日以内に症状が現れます。



### 日常生活で気をつけること

**「清潔」「保湿」「刺激からの保護」「観察」が大切です**

- ◆ 長時間の歩行は、足の裏に負担がかかるので避けましょう
- ◆ 靴は柔らかい材質で、足に合ったものを履きましょう
- ◆ 厚めの靴下や、ジェル状の中敷を使用して、足の裏を保護しましょう
- ◆ 熱い風呂やシャワーをなるべく控えましょう
- ◆ 石鹸はできるだけ刺激の少ないもの（弱酸性など）を選びましょう

### 皮膚の乾燥を避けるため、保湿剤をこまめに塗りましょう

- ① 手足は1日5回を目標に保湿剤を塗りましょう
- ② 手洗いや水仕事の後は、その都度保湿剤を塗りましょう
- ③ 保湿剤や軟こうは、人差し指の第一関節まで出した量が両手に塗る目安です

顔に軟膏をぬる場合は、化粧水→ステロイド軟こう→保湿剤の順番で使いましょう

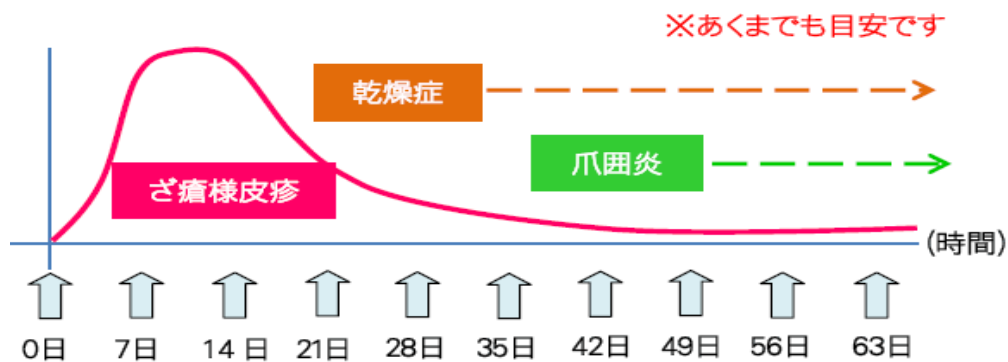
- ④ 保湿剤は塗ったところにティッシュが貼りつくくらいの量です。



## 皮膚障害

分子標的薬治療ではほとんどの方に皮膚症状が現れます。皮膚の症状をコントロールしながら治療を続けることが重要になります。

### 症状と発症時期



#### 1. にきび様皮疹

顔（鼻の周りなど）、頭、首、上半身（胸や背中）に、にきびのような発疹が現れたり、赤くなっただけかゆみを伴うことがあります。

#### 2. 皮膚の乾燥、ひび割れ

皮膚全体に乾燥がみられるようになります。手足の指先のひび割れや、かゆみが出ることもあります。

#### 3. 爪の変化、爪の周囲の炎症

手足の爪が変形したり、爪の周りに炎症が起こって痛みを伴うこともあります。

### スキンケアについて

#### 治療開始と同時に肌の保湿を開始しましょう

- ① 石鹸はできるだけ刺激の少ないもの（弱酸性など）を選びましょう
- ② 石鹸はよく泡立て、手のひらで優しく洗うようにしましょう



③ 石鹼が残らないように、丁寧に洗い流しましょう

④ お湯は熱すぎないようにしましょう

⑤ タオルで押さえるように優しく拭きましょう

⑥ 皮膚が傷つくので軽石の使用は避けましょう

⑦ **皮膚、爪の周囲に強い炎症が起きている場合**には、ステロイド軟こうを使います

ステロイド軟こうは、部位によって異なるため、使い方を守りましょう



### 皮膚の乾燥を避けるため、保湿剤をこまめに塗りましょう

① 手足は1日5回を目標に塗りましょう

② 手洗いや水仕事の後は、その都度保湿剤を塗りましょう

③ 保湿剤や軟こうは、人差し指の第一関節まで出した量が両手に塗る目安です

④ 顔に軟膏をぬる場合は、化粧水→ステロイド軟こう→保湿剤の順番で使いましょう



### お化粧・髭剃りについて

◆ 化粧品は、アルコールフリー・オイルフリー・敏感肌用のものを使うことをおすすめしますが、普段から使用していて肌荒れしない化粧品であれば使用しても良いでしょう。異常を感じたら使用をやめましょう。

◆ クレンジングは皮膚に負担のないジェルタイプかクリームタイプを使い、皮膚を擦らないように洗いましょう。

◆ 皮膚に負担の少ない電気カミソリを優しく当てるようにすると良いでしょう。

### 紫外線対策について

◆ 日焼けは避けましょう。日差しの強い季節は、帽子や日傘を活用し、日焼け止めも塗りましょう。

◆ 長袖、帽子、スカーフなどで肌の露出を避けましょう。

## 爪障害

治療で使用するお薬の影響で、爪に下記の症状が現れることがあります。

普段のお手入れで、ある程度予防することができます。

- ◆爪が黒ずみ、スジが入る。爪が薄くなり、割れやすくなる
- ◆爪の周りに炎症が起きて痛くなる（爪囲炎：そういえん）
- ◆爪が曲がり、皮膚に食い込む（嵌入爪：かんにゅうづめ）
- ◆爪が巻いて皮膚に食い込む（巻き爪）



### 普段のお手入れ

- 爪は少し長めに切り、スクエアカット（四角くカット）にしましょう。
- 入浴後の爪の柔らかい時に爪をカットし、深爪にならないように注意しましょう。
- 爪の角を整える場合は、爪ヤスリを使用すると爪への負担が少なくなります。  
※爪ヤスリは二枚爪になりやすいので、一方向に動かしましょう。
- マニキュアを塗ると、ひび割れなどから爪を守ることができます。  
※爪の周りに炎症や痛みがあるときは、マニキュアは避けましょう。
- 除光液は刺激になるので、「ノンアセトン」と書かれているものを選びましょう。
- 爪の周りに保湿剤を塗りましょう。
- 指サックをしたり、靴下をはくようにしましょう。



### 爪障害を起こしやすいお薬

ドセタキセル（タキソテール）、パクリタキセル（タキソール）、フルオロウラシル（5-FU）、シタラビン（キロサイド）、カペシタビン（ゼロード）、TS-1、一部の分子標的薬

★上記の一部のお薬は、投与中に手足を冷やすと爪障害を予防できるといわれています。

詳しくは看護師までご相談ください。

## 巻き爪の症状が出たら

◆テーピングで皮膚をひっぱり、爪の先が皮膚に食い込まないようにしましょう。



◆蒸れて症状が悪化するので、絆創膏でぐるぐる巻くのはやめましょう。

◆爪の曲がりの治療として、当院皮膚科ではワイヤ-装着の処置を行っています（自費診療で1爪当たり15000円、診察のみ3000円）。詳しく知りたい方は[皮膚科](#)に別紙がありますのでスタッフにお声がけください。

## 脱毛

**\* 起こりやすい薬 \*** パクリタキセル、ドセタキセル、エトポシドなど

毛根細胞は活発に活動している細胞なので、抗がん剤の影響を受けやすい傾向があります。治療開始後2～3週目頃より脱毛が始まり、1～2ヶ月でほとんどの毛が脱毛しますが、人によりさまざまです。薬によって脱毛するもの、しないものがあります。

### 抜ける前の準備

- ◆ ブラシは目の粗いものを使用しましょう。
- ◆ 髪の長い方はあらかじめ毛髪を短くカットしておいたほうが、抜けたときも掃除がしやすくなります
- ◆ スカーフや帽子、ウィッグを事前に準備しておくとい良いでしょう。ウィッグは種類も多く、見た目や目的、価格によって選択することができます。
- ◆ 当院1階 受付Eに声がけして頂きますと、アピアランスルームの見学ができます。平日の9：00～17：00に気軽にお声かけください。  
ウィッグの見本やパンフレットもあります。レンタルについても相談できます。  
眉毛やまつげの脱毛もあるので、脱毛後の対策についても気軽に相談してみましょう。
- ◆ 当院2Fの美容室では、オーダーメイドのウィッグも相談できます。  
手入れ等もしてくれますが、オーダーメイドのためやや高額になりますので、「ウィッグの見学をするつもりで来た」のか「ウィッグを買うつもりで来た」のかをはっきり伝えてから入店するのがおすすめです。



### 抜け始めてからのケア

- ◆ 直射日光による刺激を避け、帽子や日傘を活用しましょう。
- ◆ 新しく生えてくる髪のために、シャンプーは手のひらでよく泡立ててからやさしく洗髪しましょう。抜けてしまっても清潔を保つためにできるだけ毎日洗いましょう。
- ◆ パーマや毛染め（カラーリング）は、刺激が強いため治療期間中はやめましょう。
- ◆ ドライヤーは低温で使いましょう。
- ◆ 粘着テープなどを利用し抜け毛を掃除し、ベッド周囲を清潔に保ちましょう。

### 治療が終わったら

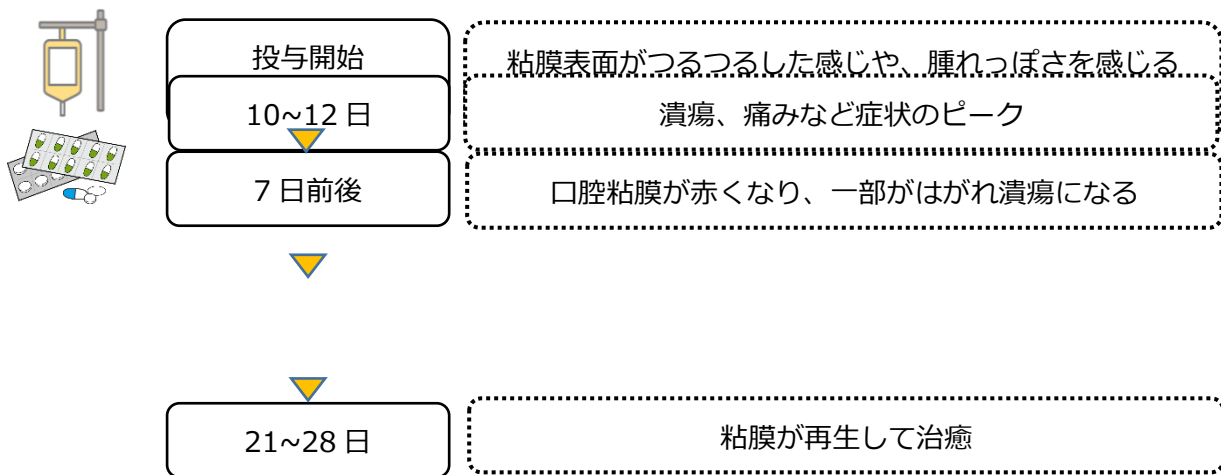
- ◆ 髪の毛は2,3月後で産毛、半年から1年で全体的に生えてきますが、数年はくせ毛の場合が多いようです。まつ毛や眉毛は数か月で生えてくるのがほとんどです。
- ◆ 生えそろってきたら毛染めをしてもかまいません。

## 口内炎・口腔粘膜炎

抗がん剤治療中はお口の中の粘膜が赤く腫れて痛みが出現したり、唾液量の低下により乾燥しやすくなります。口内炎がひどくなるとお食事がとれなくなったり、全身の感染の原因となることもあるため、抗がん剤治療中のお口のケアは大切です。

治療を始める前からお口のケアをしっかりおこない、常にお口の中を清潔に保ち、細菌が増えないようにすることが大切です。自覚症状を確認し、毎日鏡でお口の中をチェックしましょう。

### ① 口内炎(口腔粘膜炎)の症状はこのような経過をたどります



### ② 口内炎の予防で大切なことは、

**口腔衛生の保持(お口の清潔)と口腔内の保湿(乾燥させないこと)です**

- 1日3回、食後30分以内に歯磨きをしましょう。粘膜を傷つけないよう、力を入れずに丁寧に磨くようにしましょう。歯ブラシは、ヘッドが小さく、やわらかめの**ナイロン製**がお勧めです。舌も奥から手前に向かって軽く数回こすりましょう。
- 入れ歯の方は毎食後に外して洗いましょう。就寝時は容器に水を入れて浸けておきましょう。
- 起床時、食前・食後、就寝前など1日8回を目標に、水か塩水でうがいをしましょう。お食事前にうがいをする事で細菌を減らし、お口の中に潤いを与え粘膜が傷つくのを防ぎます。

水500mlに小さじ1杯弱(4.5g、ペットボトルのキャップ8分目)の塩を混ぜると生理食塩水ができます。1日で使い切りましょう。

- アルコール、殺菌剤入りのうがい薬や洗口液は、刺激になる可能性があるので避けましょう。  
※歯がぐらついている、歯茎が腫れるなどの症状があれば、治療前に主治医や看護師に相談しましょう。

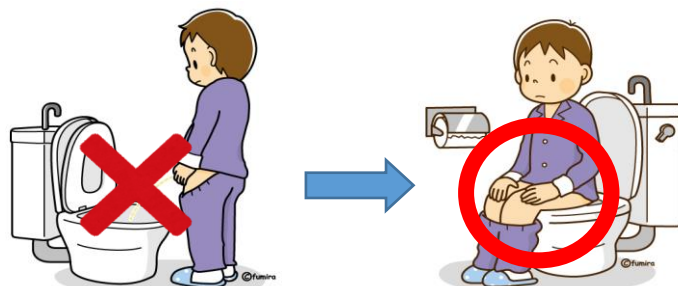


## 抗がん剤曝露

抗がん剤治療後2日間ほどは尿や便のなかに抗がん剤が残っています。それらに直接触れても健康に被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ広げないようにするとよいでしょう。

### 日常生活の注意

- 男性も座って排尿しましょう。



- トイレの後はふたを閉めて2回流しましょう。
- 尿がこぼれた場合はトイレトペーパーできれいにふきとり、トイレに流しましょう。
- トイレのあとは石鹸でよく手を洗いましょう。
- 排泄物や嘔吐物で汚れた洗濯物は、ほかの洗濯物と分けて洗濯するとよいでしょう。

ふたを閉めて2回流す



## 性生活

治療中は性生活においてもいくつかの注意事項があります。また、抗がん剤や体調の変化で治療前の感覚とは異なる場合もあります。何か不安な事があればお聞きください。

### 対処法

- ◆ 抗がん剤によっては月経が止まったり、閉経が早くなる場合があります。
- ◆ 治療後1週間から2週間の骨髄抑制時期は感染や出血などの危険も高いため性行為は控えましょう。
- ◆ 治療中は体液の中にも抗がん剤が残っているためコンドームを使用し避妊しましょう。
- ◆ 膣が乾燥する場合は潤滑ゼリーなどを使用しましょう。
- ◆ 性行為の前後は清潔に注意しましょう。
- ◆ 詳しい情報を知りたい場合は下記の本やインターネットで調べることができます。  
アメリカがん協会編、高橋郁訳：がん患者の<幸せな性>、春秋社；2007。  
日本がんと性研究会 <http://oncosexo.umin.jp/>  
国立がんセンター がん情報サービス：性機能障害  
[http://www.bms.co.jp/medical/sizai/OncolNurse-15.pdf#search='性機能障害 抗がん剤'](http://www.bms.co.jp/medical/sizai/OncolNurse-15.pdf#search='性機能障害%20抗がん剤')

## 血管外漏出

点滴の液が血管外にもれてしまうことを「血管外漏出」といいます。

特に抗がん剤がもれると、薬剤によっては周囲の組織に炎症を起こし、ひどくなると水泡や壊死を起こしてしまう可能性があります。

### 血管外漏出が起こりやすい条件

- ・高齢者
- ・トイレに何回も通うなど動きが多い
- ・糖尿病の既往がある
- ・抗がん剤を何度もおこなっている
- ・むくみがある
- ・脱水や栄養不足がある
- ・末梢神経障害など感覚がにぶい
- ・血管が細く針を刺すのにいつも苦労をする

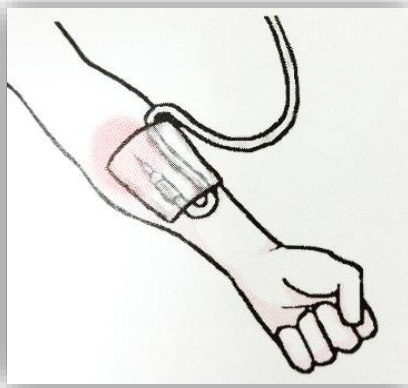
### 自分で気をつけておきたいこと

- ・点滴前にトイレを済ませておく
- ・針が刺さっている部分はなるべく動かさないでおく



点滴中は看護師が頻繁に観察しにきますが、下記のようなことがあればすぐ看護師に伝えてください。

- ・針が入っている部分が腫れている、赤みがある
- ・針が入っている部分が痛い、ピリピリしたり違和感がある
- ・点滴が止まっている、または速度が遅い
- ・針が入っている部分からの点滴の漏れがあり濡れている



## 静脈炎・血管痛

抗がん剤を点滴すると薬剤によっては、血管外にもれていなくても下記のような症状が出現する可能性があります。

### 静脈炎・血管痛を起こす代表的な抗がん剤

ファルモルビシン・ゲムシタビン・ロゼウス・オキサリプラチン・アドリアシンなど

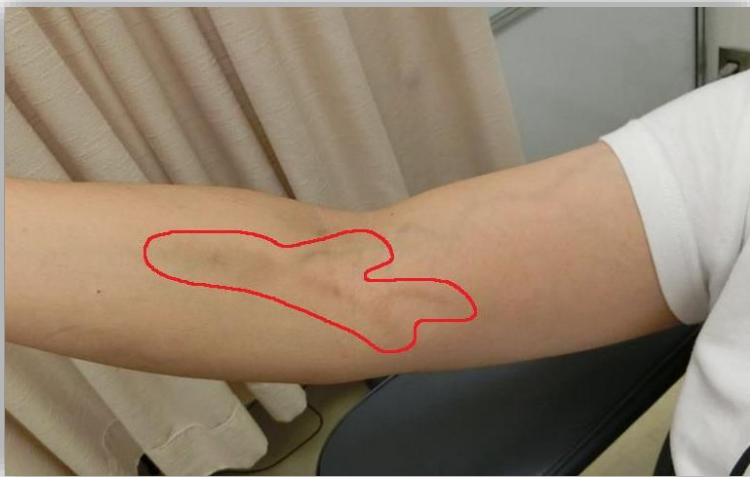
### 症状

- ・点滴部位から体の中心にむけて血管が硬くなる。
- ・血管に沿って違和感、または痛みがある。
- ・血管の色が変わる（黒くなる。赤みが強くなる）
- ・つっぱり感を感じる。
- ・腕がまっすぐ伸びない。

### 自分でできる観察のポイント

#### 抗がん剤投与中

- ・点滴の針が入っている血管に沿った痛みや違和感
  - ・点滴の入っている腕のツッパリ感
- 血管の外に薬が漏れていないかを確認しますのですぐに看護師を呼んでください。



血管炎の症状は薬剤によって、また個人差もかなりあります。  
血管炎の症状や血管痛がある場合、治療を継続していくうえで  
PICC カテーテルを留置したり、CV ポートをいれるという方法もあります。  
医師または看護師にご相談ください。

## しゃっくり(吃逆)

しゃっくりとは、横隔膜が不随意にけいれんを起こしてしまうことで生じる症状です。  
抗がん剤や吐き気止めの副作用でしゃっくりが起こることもあります。  
すぐには治まらない場合もありますので我慢せずご相談ください。



### 対処法

- ◆ 深呼吸をする、氷水を一気に飲む、レモン水などのすっぱいものや、苦いものを飲むなどの方法が効果的なことがあります。
- ◆ しゃっくりが治まらない場合に飲めるお薬があります。

例)メトクロプラミド、コントミン、柿のへた水など



<メトクロプラミド>



<コントミン>

- ◆ 看護師にご相談ください。